



[発行] 中央区議会
中央区築地一丁目1番1号
[電話] 3543-0211(大代表)
[中央区議会ホームページ]
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより

第1回定例会



令和5年(2023年)
No. 259



令和5年度各会計予算を可決

総額は1,752億161万1千円で、前年度当初予算に比べ16.4%、247億1,198万5千円の増額となりました。(6・7面)

中央区男女の平等及び共同参画による社会づくりに 関する基本条例などを可決

補正予算、条例の制定、指定管理者の指定など38議案を原案のとおり可決しました。(8面)

主な内容	第1回定例会の経過	提出された議案等
<ul style="list-style-type: none"> ●一般質問 2面～4面 ●委員会の活動 ●請願 5面 ●予算特別委員会のあらまし 6面・7面 ●議案等の審議結果 8面 	2月20～22日 本会議 24日 企画総務委員会 27日 本会議 28日 区民文教委員会 企画総務委員会 3月1日 環境建設委員会 福祉保健委員会 2～13日 予算特別委員会 16日 本会議	<ul style="list-style-type: none"> ◆区長提出議案 <ul style="list-style-type: none"> ・条例..... 24件 ・予算..... 7件 ・契約..... 1件 ・財産..... 2件 ・その他..... 7件 ◆議員提出議案 <ul style="list-style-type: none"> ・条例..... 1件 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員の推薦..... 1件



区議会ホームページ
をご利用ください!

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



日本共産党中央区議会議員団
小栗 智恵子

ジェンダー平等と 「男女共同参画行動計画2023」について

問 男女別賃金の公表制度が今年から実施されるが、区役所における男女別賃金の公表をもとに、格差是正、非正規雇用の待遇改善を進めるため、行動計画に数値目標を示して取り組んでは。

答 男女の賃金の差異是正は、行動計画の基本目標の一つである「女性の活躍の推進」に含められており、取り組みの方向性として、女性活躍推進の意識啓発や事業所向けセミナー等の支援策を講じることとしている。本目標では、区民調査の「職場における男女の地位の平等感」や「一般事業主行動計画」を策定・公表している事業所数を指標とし、男女の賃金差異の解消に努めていく。

教育費の負担軽減について

問 中央区が学校給食の無償化を決断したことを高く評価。さら

に教材費や標準服などについても保護者負担の軽減を求める。

答 教材費や標準服などの個人に還元される経費は、原則として受益者負担と認識。米飯給食用の米穀給付や卒業アルバム作成費・修学旅行費等に補助を行ってきた。さらなる負担軽減は、国や都などの動向を踏まえ、総合的な子育て支援策として検討が必要。

問 私立学校や高校の授業料、大学学費などについて、区として教育費負担の軽減に向けてどう取り組んでいくか。

答 国や都の取り組みの充実に加え、区では「子どもの学習・生活支援事業」や「受験生チャレンジ支援貸付事業」を実施している。現時点では新たな経済的支援を行う予定はないが、今後相談があった際は丁寧に聞き取りを行い、適切な支援につなげていく。

防災・住民本位のまちづくりについて

問 大型開発優先のまちづくりではなく、都市の成長を管理し、ダウンゾーニングで過密化を防ぎ、水とみどりを増やして、住民の合意をつくりながら進める、住民本位のまちづくりに転換を。

答 開発事業の機会を通じ、防災に資する広場や潤いある水とみどりの空間整備などゆとりある都市整備を適切に推進するとともに、地域住民の意向に配慮したまちづくりに取り組んでいく。

その他質問事項 ①区長の所信表明について ②地球温暖化対策について ③新型コロナ対策と福祉・医療の充実について



中央区議会自由民主党議員団
塚田 秀伸

区長の所信表明について問う

問 中央区平和都市宣言に触れているが、昨今の世界情勢を踏まえ、平和を理念とする本区のメッセージを今一度周知すべきでは。

答 来月の「平和の都市の楽しい集い」の開催に伴い、パネル掲示等で改めて平和の尊さや大切さを発信する。今後も区民への平和意識の啓発に努め、恒久平和の実現に向け施策を展開していく。

本区の都市力を最大化する 都市整備について問う

問 (1)基本計画における都市基盤整備の工期は長期におよぶが、近隣住民や事業者への進捗状況などの情報発信について考えは。(2)工事期間中のまちのにぎわい維持やさらなる復興への施策は。

答 (1)関係者間の情報を集約し発信することが重要。今後も、複数関係者が情報共有する場の設置やその活用に取り組み、わかりやすい情報発信に努める。(2)とりわけ日本橋川沿いエリアでは、来年度から補助制度を創設し、地元による催事等を支援していく。他の地域でも、活性化が図られるよう地元の方々と議論を重ね、まちの特性を生かしたにぎわいづくりに取り組む。

問 K K線をはじめとした遊歩道ネットワークについて、歩行者が本区内にアクセスしやすく、誰にでも優しい空間にすべきでは。

答 広域的な歩行者中心のネットワークの実現に向け、開発事業との連携や公共施設の有効活用などを進めていく。

問 (1)水上交通としての舟運事業の今後の展望は。(2)防災船着場などの転用や、区外へのアクセス整備について考えは。

答 (1)観光資源のほか、通勤や日常的な移動手段としての利用も目指し、鉄道やバス等の陸上交通と結節していく。来年度は現状や課題を整理し、基本方針の検討や需要等の調査を行う。(2)将来的な広域連携も視野に、都や他区との意見交換を行っていく。

地震などの自然災害対策について問う

問 都の新たな被害想定に基づく地域防災計画の修正に関し、近年の本区の特性を鑑み、どのように検討しているか。

答 本区の地域特性から、マンション防災力の向上や帰宅困難者対策の充実が不可欠。あわせて、災害時地域たすけあい名簿を活用した拠点訓練の実施や感染症対策など、防災拠点で展開してきた対策を計画に位置づけていくことも重要。

問 (1)試行的な晴海中学校生徒の防災拠点訓練への参加を他の小中学校生徒などへ拡大しては。(2)小さな子どもも楽しみ、家族ぐるみで参加できるような防災イベントや訓練について考えは。

答 (1)取り組みの結果を踏まえ、翌年度以降、順次拡大するよう検討していく。(2)明正小学校では競技形式による防災資器材設営訓練に加え、ミニ消防車運転体験や綱渡り訓練など、こども防災体験コーナーを新たに実施。子どもからお年寄りまで多くの方が参加し一定の成果があった。地域防災力のさらなる向上を目指し、地域防災の担い手育成やコミュニティの活性化に努めていく。

問 新しいまちとしてスタートする晴海五丁目地区は、町会や地域の結びつきなど、団体の醸成に一定の時間を要すると想定されるが、現時点における防災対策の取り組みについて考えは。

答 在宅避難の普及啓発を図るほか、新たな防災拠点の設置をはじめ、共助の体制づくりに着手していく。晴海連合町会や各自治会からの意見聴取や協議などを通じて、対象となる避難区域の見直しや運営体制など防災拠点運営のあり方を検討していく。

地域のにぎわいについて問う

問 地域コミュニティ連携事業補助金について、来年度も引き続き継続すべきでは。連合町会の適用について今後の考えは。

答 長引くコロナ禍の対応として時限的制度ではあったが、本事業を活用したイベントの開催により、地域団体との連携が培われ、町会等の担い手不足解消や地域力向上にも効果的だった。さらに促進されるよう、従来の地域手づくりイベント推進助成に「地域連携加算」を追加し引き続き支援する。今後、連合町会を助成対象とすることも含め、地域の声を聞きながら検討していく。



中央区議会自由民主党議員団
佐藤 あつこ

区長における公共政策の 実践と政治哲学を問う

問 (1)本区の特性を踏まえ、民意を的確に把握することの重要性について考えは。(2)多様な区民間の合意形成を得るため、どのような発信や説明のあり方が望ましいか。

答 (1)(2)区民の声に耳を傾け、行政サービスの向上を図ることは重要。世論調査や区長への手紙などで多くの意見をいただいているほか、パブリックコメントなどの区民の意見を反映できる仕組みを設けている。円滑な行政サービスに向けた合意形成のためには、より多くの区民に正確な情報を届けることが必要。情報にアクセスしやすい環境整備と、ホームページやSNSなどのさまざまな媒体を活用した分かりやすい情報発信に努めていく。

問 DX化やイノベーション化への変革能力について考えは。

答 住民の利便性を向上させ、業務効率化を図る上で有効。一方で、新たな技術の意義や有用性を咀嚼し、サービス向上につなげることができる職員をいかに育成し、活用していくかが課題。次年度以降は、より実践的な研修を実施し、業務改革のための思考法やスキルを備えた職員の全庁配置を目標に取り組んでいく。

問 多様な区民の政治参加や政治意欲の高まりが影響を増すが、分断や政策の先鋭化を回避するための対応と今後の展開は。

答 さまざまなテーマで活発な議論がなされる一方、不完全な情報による極端な意見があることも認識。施策や取り組みの背景、経緯など、正確かつ客観的な情報を発信することが重要と考える。

問 地域特性に即した課題を解消し、区民生活の一助となるよう政策立案機能を向上させるべきでは。

答 質の高いサービスの提供に向けた組織間の連携体制が重要。

また、区民や企業、NPOなどとの連携や協力も不可欠。新たに策定した基本計画では、計画全体を先導する役割を担うリーディングプロジェクトを設定し、分野横断的に政策を展開していく。

「こども家庭庁」の創設にともなう、 本区の指針を問う

問 (1)子どもと家庭の基本的な捉え方は。(2)家庭が担う子育ての役割と子どもの権利という概念との比較について見解は。

答 (1)(2)家庭は子どもが健康で安心して過ごせる場であり、愛情による絆を形成することで、人への信頼感や倫理観、自立心などを身につける場であると認識。子どもの教育や子育ては、保護者が第一義的責任を有するとの認識のもと、地域と一体となり、子どもの権利が保障され、最善の利益が確保されるべきもの。

問 (1)未就園児の虐待や孤立、貧困や心身の不調といった動向の的確な把握の方法は。(2)調査、分析の必要性を想定した子ども家庭支援センターの組織体制は。(3)相談体制の強化にあたり、子どもの権利擁護という視点をどのように捉え、活かしていくのか。

答 (1)(2)(3)子ども家庭支援センターにおいて、保育園等の所属や健診の受診状況等を確認し、状況の確認ができなかった場合は家庭訪問するなど全数把握に努めている。今後はワンストップのサポート窓口の整備など、総合的な相談・支援体制を強化していく。引き続き、子どもの最善の利益を尊重しながら、子ども自身がいつでも身近な場所で相談できる体制づくりに努めていく。

本区が思索するポストコロナの 公教育を問う

問 (1)給食時の黙食を継続している合理的な理由と緩和要件は。(2)卒業式・入学式等の式典でのマスク着用を判断した背景と、マスクフリーでの挙行が可能となる成立要件は。

答 (1)当時の感染状況から継続すると判断した。国は新学期の対応について改めて通知するとしているため、その上で総合的に検討していく。(2)感染症法上の類型見直しなど、国や都の方針を踏まえ、子どもや教職員は原則としてマスクを外すこととした。



中央区議会公明党
墨谷 浩一

生活習慣病の予防の取り組みについて

問 ウォーキングは有効な健康づくりの手段。生活習慣を見直す機会を増やしていくことが必要だが、スマートフォンのアプリや歩数計を活用した健康ポイント事業を導入しては。

答 現在進めている「中央区健康・食育プラン2013」の改定作業の中で、健康ポイント事業も含めて、本区の特性を生かした健康事業の充実に向けて取り組んでいく。

問 「健康ウォーキングマップ」のバージョンアップについて、動画などと連動した取り組みについて見解は。

答 晴海地区をはじめ、まちづくりや水辺の整備が進んでいくことから、新たなコースを取り入れるなど、リニューアルを行っていききたい。その際には、スマートフォンやタブレット端末の有無にかかわらず、使いやすく効果的なものとなるよう検討していく。

高齢者福祉のさらなる充実について

問 ご家族が亡くなった際にワンストップで手続きできる「おくやみ窓口」の設置など、さらなるサポートが必要では。

答 「おくやみハンドブック」を配布するほか、リニューアルした区ホームページに「手続きナビ」を導入。今後ともご遺族により一層寄り添い、サポートする窓口体制の充実に取り組んでいく。

問 介護施設の入居申込書の共通化・デジタル化により、申し込み時の負担軽減につながるシステムを導入しては。

答 区内の特別養護老人ホームは、様式の共通化は可能と考えられるため、各施設に働きかけていく。申込方法のデジタル化は、

運営法人が異なる各施設での共通システムの導入にさまざまな課題があるため、今後研究していく。

自転車の安全な走行について

問 4月から自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化される。ヘルメット着用や走行時の交通ルールについて、コミュニティサイクル利用者も含めて、さらなる積極的な周知が必要では。

答 自転車交通ルールは、区内警察署と連携し、「自転車安全利用5則」の周知徹底や、参加体験型・実践型の安全教育を推進している。ヘルメット着用については、その重要性を繰り返し周知するとともに、本区職員に区民の模範となるよう自転車利用時のヘルメット着用を指示した。コミュニティサイクル利用者に対しても、利用時のアプリやホームページで周知していく。

問 コミュニティサイクルのポートにある自転車を増やす取り組みや、ポートのさらなる拡大が求められているが、見解は。

答 晴海フラッグでは、25カ所のポート設置を予定。他の地域も再開発等の機会を捉えて設置を推進。車両増減が多いポートでは、再配置の頻度を増やすとともに、AI技術による「再配置最適化プログラム」を活用することで、より効果的な配置に努めている。

防災・減災の取り組みについて

問 (1)無電柱化工事に伴い、電磁波レーダーを用いた非破壊探査手法などのデジタル技術を導入しては。(2)無電柱化に限らず、インフラ関係の地下埋設物の新設や取替工事等のための試掘箇所をデータ化し、デジタル管理を行うべきでは。

答 (1)(2)平成4年度より「道路管理システム」を導入し、道路や占用物件に関する各種情報を総合的に管理。また、平成23年度から試掘や電磁波レーダーによる埋設物調査を実施し、工期短縮とコスト削減に努めている。三次元的に可視化できるデジタル新技術は、さまざま場面での有効活用が期待できる。新技術の研究を継続し、費用対効果などを含め有効性について検討していく。

委員会の活動（令和5年1月～3月）

常任委員会

企画総務

〔議案の審査〕

- ◆令和4年度中央区一般会計補正予算
- ◆中央区個人情報の保護に関する法律施行条例
- ◆中央区男女の平等及び共同参画による社会づくりに関する基本条例

ほか12件

〔主な報告事項〕

- ◆中央区基本計画2023の策定について
- ◆マイナポータルを活用したオンライン申請の受付開始について
- ◆帰宅困難者一時滞在施設等の現況について

ほか8件

区民文教

〔議案の審査〕

- ◆中央区印鑑条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立学校設置条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立図書館条例の一部を改正する条例
- ◆指定管理者の指定について（区立晴海地域交流センター）

ほか1件

〔主な報告事項〕

- ◆住民基本台帳による世帯と人口の動き
- ◆スマートフォンによるコンビニ交付サービスの開始について
- ◆「中央区ビジネス交流フェア2022」の開催結果について
- ◆中央区立晴海西小学校及び晴海西中学校の設置について

ほか5件

福祉保健

〔議案の審査〕

- ◆中央区保育の提供等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例
- ◆中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例

ほか10件

〔主な報告事項〕

- ◆中央区子ども・子育て会議条例の規定整備について
- ◆区立認可保育所等の副食費の無償化について
- ◆月島三丁目北地区市街地再開発事業における知的障害者グループホーム等の整備について

ほか8件

環境建設

〔議案の審査〕

- ◆中央区事務手数料条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立リサイクルハウス条例の一部を改正する条例
- ◆訴えの提起について

ほか1件

〔主な報告事項〕

- ◆リサイクルハウスかざぐるま明石町の移転及び事業の充実について
- ◆八重洲二丁目南地区に係る都市計画について
- ◆建築物エネルギー消費性能向上計画認定の審査に係る事務手数料の額の変更等について

ほか5件

特別委員会

まちづくり・都市基盤対策

〔主な報告事項〕

- ◆築地二丁目地区に係る都市計画について

子ども子育て・高齢者対策

〔主な報告事項〕

- ◆中央区子ども・子育て会議条例の規定整備について
- ◆放課後児童健全育成事業の安全計画の策定に係る基準の追加等について

ほか5件

地域活性化対策

〔主な報告事項〕

- ◆中央区立晴海地域交流センターの指定管理者候補事業者の決定について
- ◆晴海区民館の工事に伴う休館について
- ◆「中央区ビジネス交流フェア2022」の開催結果について
- ◆中央区立晴海図書館の設置について

感染症・防災等対策

〔主な報告事項〕

- ◆新型コロナウイルス感染症への対応について
- ◆帰宅困難者一時滞在施設等の現況について

区議会だよりはアプリでも

中央区議会では、スマートフォンやタブレット端末を活用し、いつでもどこでも「ちゅうおう区議会だより」をご覧いただけるよう、「マチイロ」での配信を行っています。

〔利用方法〕

QRコードからダウンロードし、「お住まいの地域」を「東京都中央区」に設定してください。

◎アプリのダウンロードは無料ですが、接続料・通信料は利用者負担になります。

◎アプリの画面には運営者が製作する広告が表示されますが、中央区議会とは一切関係ありません。



新たに提出された請願

- 中央区立図書館の地域資料の確かな保存と経験知に基づく活用を求める請願
- 中央区立図書館の運営に関して、ステークホルダーである区民に向けた説明会を求める請願

令和5年1月11日付で提出された上記請願は、3月16日の本会議にて区民文教委員会に付託されました。

予算特別委員

予算特別委員会の設置

予算特別委員会は、2月27日の本会議において委員15名をもって設置され、令和5年度中央区一般会計予算、令和5年度中央区国民健康保険事業会計予算、令和5年度中央区介護保険事業会計予算、令和5年度中央区後期高齢者医療会計予算のそれぞれの審査について付託を受けました。

本会議散会后、議長招集による初の委員会が開会され、委員長には海老原崇智委員が、副委員長には太田太委員が選出され、即日就任し、本委員会の構成が行われました。

予算特別委員会委員

【◎委員長 ○副委員長】	
◎海老原崇智 (自由民主党)	堀田 弥生 (公明党)
○太田 太 (自由民主党)	青木 かの (かがやき中央)
原田 賢一 (自由民主党)	高橋まきこ (かがやき中央)
瓜生 正高 (自由民主党)	山本 理恵 (区民の風)
塚田 秀伸 (自由民主党)	奥村 暁子 (日本共産党)
佐藤あつこ (自由民主党)	小坂 和輝 (子どもを守る会)
田中耕太郎 (自由民主党)	渡部 恵子 (国民民主党)
田中 広一 (公明党)	

令和5年度各会計の当初予算額と概要

令和5年度各会計の当初予算額

(単位：千円)

会計区分	令和5年度	令和4年度	増減率
一般会計	148,393,764	124,818,363	18.9%
国民健康保険事業会計	14,044,404	13,089,836	7.3%
介護保険事業会計	9,260,607	9,112,375	1.6%
後期高齢者医療会計	3,502,836	3,469,052	1.0%
合計	175,201,611	150,489,626	16.4%

一般会計予算は1,483億9,376万4千円で、前年度当初予算1,248億1,836万3千円に比べ235億7,540万1千円、18.9%の増となり、当初予算として過去最大規模となりました。

また、歳出総額から公債費を除いた、いわゆる政策的経費である一般歳出についても18.8%の増となります。

前年度予算に比べ増となった主な要因は、本の森ちゅうおうの整備(40億円減)の皆減などがあるものの、市街地再開発事業助成(100億円増)、晴海西小学校・晴海西中学校の整備(86億円増)、晴海特別出張所(仮称)等複合施設の整備(51億円増)、日本橋特別出張所等複合施設の改修(11億円増)、銀座中学校の改修(10

億円増)、本庁舎の改修(8億円増)の増などによるものです。

国民健康保険事業会計予算は140億4,440万4千円で、保険給付費や国民健康保険事業費納付金の増などにより、前年度当初予算に比べ9億5,456万8千円、7.3%の増となっています。

介護保険事業会計予算は92億6,060万7千円で、居宅介護サービス等給付費などの保険給付費の増などにより、前年度当初予算に比べ1億4,823万2千円、1.6%の増となっています。

後期高齢者医療会計予算は35億283万6千円で、療養給付費負担金などの広域連合納付金の増などにより、前年度当初予算に比べ3,378万4千円、1.0%の増となっています。

一般会計予算に対す

中央区議会自由民主党議員団 賛成

- ◆小中学校における給食費・保育園における副食費の無償化をはじめ我が会派の13分野・38項目に及び重点政策要望が数多く予算化されたことを高く評価します。
- ◆予算を許さない財政状況が続く中、限られた財源・人材をこれまで以上に効率的に活用頂き、今後も、子どもからお年寄りまで全ての区民の皆さまの福祉向上に全力をあげて頂くことを強く望みます。

日本共産党中央区議会議員団 反対

- ◆23区で中央区のみが徴収する情報公開手数料は無料に。
- ◆高額の間学児童クラブ誘致は問題。小中学校の敷地活用など区立学童の整備を早急に。奨学金制度創設など保護者負担軽減を。
- ◆環境に多大な負荷をかける大規模再開発事業は見直しを。
- ◆困窮世帯のため公営住宅拡充、借り上げ住宅、家賃補助など実施を。
- ◆国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の保険料引下げを。

中央区議会公明党 賛成

- ◆区立小中学校給食費・保育園副食費の完全無償化、子ども医療費助成制度の高校生世代までの拡大、本の森ちゅうおうにおけるイベントの充実、带状疱疹ワクチン予防接種の一部助成、男女平等政策の推進など我が会派の要望が予算に計上されたことを評価する。
- ◆産後ケアの拡充や幼稚園預かり保育の拡大、道路橋のバリアフリー化、ドッグランの増設、江戸バスの東日本橋地域への運行を要望。

子どもを守る会 賛成

- ◆給食無償・障がい者等江戸バス無料・幼稚園教育の魅力発信が進展。
- ◆「新たなステージ」では①子どもの意見表明支援②区民参画③協議型まちづくり④「0カ月0日」の虐待死を救うSNS相談⑤区職員が自己啓発を進めその専門性が継承される職場に期待する。

会のあらまし



▲予算特別委員会（3月2日撮影）

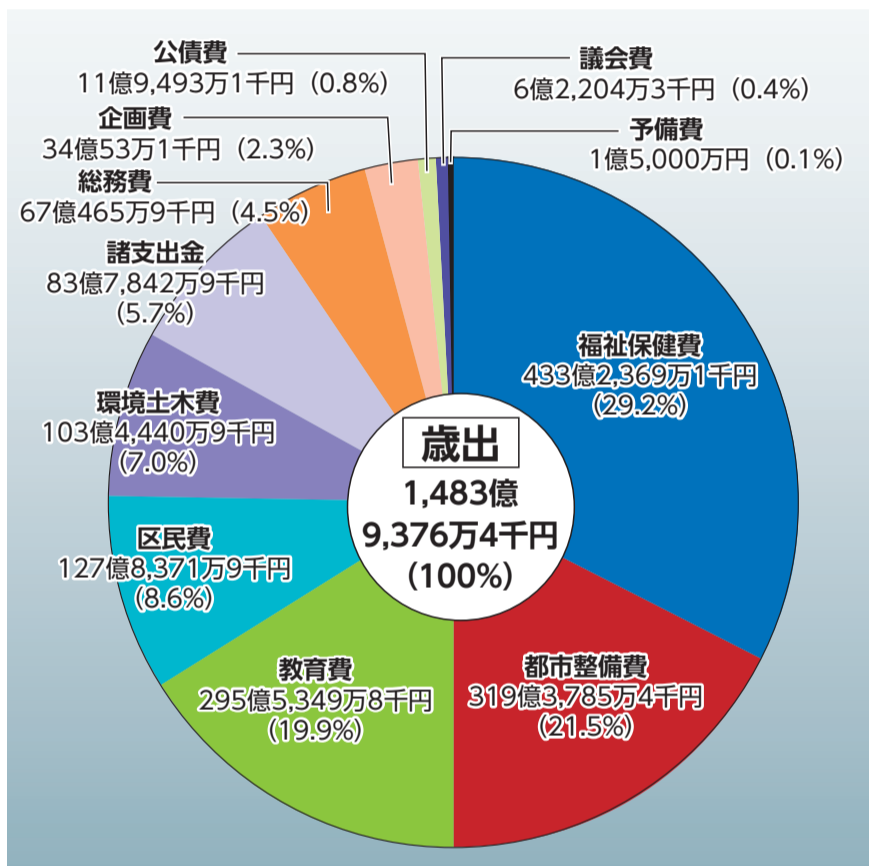
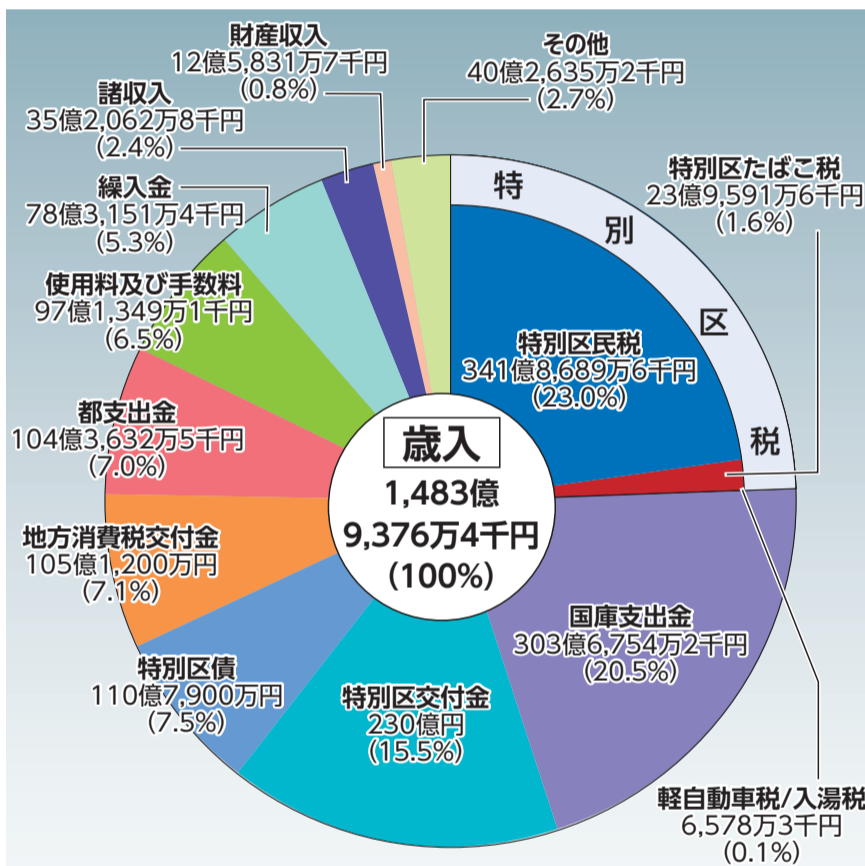
審査の概要

本委員会は、令和5年度における本区行政運営の大綱をなし、その方針を決定する本予算案に対し、現下の社会経済情勢を踏まえつつ、区民の信託に応えるため、2月27日の本会議での付託以来、延べ10日間にわたり、慎重に審査を行いました。

3月2日から、まず一般会計歳入予算より一括して質疑を開始し、次に一般会計歳出予算、さらに国民健康保険事業会計歳入歳出予算、介護保険事業会計歳入歳出予算、後期高齢者医療会計歳入歳出予算について一括して質疑を行い、3月13日には全ての審査を終了しました。

これに伴い、各会派の態度表明が行われ、最後に各会計歳入歳出予算について、起立により採決を行い、起立多数でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

令和5年度一般会計当初予算の内訳



千円単位の金額は、それぞれの数値を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。また、構成比 (%) については、端数調整をしているため、合計とは一致しない場合があります。

各会派の態度表明

かがやき中央

賛成

- ◆2024年度から始まる森林環境譲与税は新しい事業に使う事。
- ◆災害時在宅避難を強いられるマンション住民の備蓄を充実させる。
- ◆連携事業補助金は各町会・自治会に偏りがないよう気を付ける。
- ◆水上交通活性化事業に予算が付いた。次は水上バスの誘致を求める。
- ◆タブレットを最大限に活用したデジタルシチズンシップ教育の実現。一人一人に合った学びの環境整備を求める。

中央区議会区民の風

賛成

- ◆予断を許さない財政環境のもと、コロナ感染症や物価高騰のほか、子育て支援など喫緊の課題への対応に加え、20万都市を見据えた中長期的な課題への対応を評価。コロナを乗り越えた笑顔あふれる未来を切り拓くために、子どもから高齢者まで誰をも幸せに導く事業展開を期待。また、コロナ禍で多様化・複雑化した地域課題に的確に対応するために、行政の組織横断的な連携を強く要望。

中央区議会国民民主党

賛成

- ◆多様化する行政需要の増加に向け、健全かつ持続可能な財政運営を。
- ◆「未だかつてない新たなステージ」へ基本計画2023の着実な実行を。
- ◆重点分野 1 脱炭素社会の実現を目指す取組の着実な執行を。
- ◆重点分野 2・3 区民福祉に資する施策の着実な執行を。



